



TITLE:

東海大学医学部泌尿器科学教室における手術統計(1975年2月-1978年2月)

AUTHOR(S):

大越, 正秋; 川村, 信夫; 岡田, 敬司; 勝岡, 洋治; 鮫島, 正継; 村上, 泰秀; 早川, 正道; 青木, 清一

CITATION:

大越, 正秋 ...[et al]. 東海大学医学部泌尿器科学教室における手術統計 (1975年2月-1978年2月). 泌尿器科紀要 1979, 25(1): 77-79

ISSUE DATE:

1979-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122365>

RIGHT:

東海大学医学部泌尿器科学教室における手術統計 (1975年2月～1978年2月)

東海大学医学部泌尿器科学教室 (主任：大越正秋教授)

大越正秋・河村信夫
岡田敬司・勝岡洋治*
鮫島正継**・村上泰秀
早川正道***・青木清一

STATISTICS ON OPERATION IN DEPARTMENT OF UROLOGY, SCHOOL OF MEDICINE, TOKAI UNIVERSITY (FEBRUARY, 1975 TO FEBRUARY, 1978)

Masaaki OHKOSHI, Nobuo KAWAMURA, Keishi OKADA,
Yoji KATSUOKA, Masatsugu SAMESHIMA, Yasuhide MURAKAMI,
Masamichi HAYAKAWA and Seichi AOKI

*From the Department of Urology, School of Medicine, Tokai University
(Director: Prof. M. Ohkoshi)*

Number of operations performed in the Department of Urology during full three years since the opening of Tokai University amounts to a total of 921 cases. It includes 9 operations on the adrenal gland, 128 operations on the kidney, 47 operations on the ureter, 80 operations on the bladder, 164 operations on the prostate, 33 operations on the urethra, 221 operations on the penis, 224 operations on the scrotum and 15 operations on others.

緒 言

東海大学病院が開院して、すでに満3年が経過した。開院当時には人口5万5千であった伊勢原市も、3年後には8万に近い人口になり、東京・横浜のベッドタウンとして今までの農村から急速に住宅地に変貌しつつある。

このような背景をもった地域にある総合病院において、どのような手術がどの位行なわれているか、今後のためにもこの辺で一応のしめくりをつけておくことも無駄ではないと考え、ここに満3年分の手術統計の報告をする。

対 象 と 方 法

東海大学病院において、1975年2月24日から1978年

2月24日までに手術した患者を対象にした。手術々式を中心として統計をとり、数種の手術を一度に行なったものは、その主たる手術1つに限定して統計をとった。泌尿器科入院患者でも、たとえば術後レイウスのごとくに外科医が執刀し、泌尿器科が助手をつとめたようなものは、この統計に含まれていない。また他科の手術中に尿管を損傷し、泌尿器科医が修復したとか、腸間膜損傷のための手術中に腎外傷を発見し、手術をしたとか他の手術の麻酔時に前立腺バイオペシーを行なったといったような例は、この統計には含まれていない。泌尿器科が主体となって行なった手術のみの統計である。

結 果 と 考 察

入院患者に行なった手術578と、外来手術343の合計921の手術が3年間にわたって行なわれている。この間の病床数は20床前後で、医師数は、1975年2月から1976年4月までは2名、以後1976年6月まで3名、1976年6月

* 現：Tulene 大学。

** 現：北里大学医学部泌尿器科。

*** 現：慶応義塾大学医学部泌尿器科。

から1977年2月まで4名、以後は5名である。

手術は初めの1年に大体200件、2年目に300、3年目に400のペースで行なわれた。

Table 1 に示すごとく、副腎に対する手術を9例行なっており、クッシング症候群が1例、他は原発性アルドステロン症である。腎に対する手術は128例で、

最多のものは開放性腎生検である。腎移植は当院では腎センター教室の主管であり、泌尿器科医は協力はあるが、この統計にはのせていない。

尿管に対する手術、特に尿管切石術は、他院に比し少ないと思われる。これは当院では係蹄カテーテルによる抽石術の成績が比較的良好なことが影響しているか

Table 1. 入院患者手術件数.

副腎に対する手術		膀胱鏡	3
片側副腎全剝 対側生検 腎生検	9	経尿道的膀胱腫瘍切除術	39
クッシング症候群	1	内腸骨動脈結紮術	1
原発性アルドステロン症	8	前立腺に対する手術	164
腎に対する手術	128	前立腺全摘出術 (前立腺癌根治術)	3
腎摘出, リンパ節郭清 (腎癌根治術)	10	恥骨上被膜下前立腺切除術	44
腎摘出術	14	会陰部筋縫縮術	2
腎盂結石	2	経尿道的前立腺切除術	114
無機能腎, 異所開口	3	前立腺生検	1
キット腎	2	尿道に対する手術	19
水腎症	2	尿道脱根術	2
その他	5	内尿道切開術	10
腎, 尿管全剝, 膀胱部分切除 (腎盂癌根治術)	4	経尿道的狭窄切除術	2
腎切石術	6	尿道形成術	5
腎部分切除術	7	陰茎に対する手術	7
馬蹄腎狭部切断術	2	陰茎腫瘍根治術	2
腎盂切石術	24	陰茎異物除去術	1
腎嚢胞切除術	9	持続勃起症根治術	1
自家腎移植術	1	包皮癒着剝離術	1
腎固定術	1	嵌頓包茎整復術	1
腎盂尿管移行部形成術	4	尿道腫瘍生検	1
腎瘻術	4	陰嚢内容に対する手術	119
開放性腎生検	42	除辜術	30
尿管に対する手術	47	片側	8
尿管切石術	35	両側	22
尿管膀胱再吻合術	2	辜丸固定術	20
膀胱尿管逆流防止術	3	片側	15
尿管口切開術	2	両側	1
尿管瘤根治術	1	片側除辜, 対側固定 (辜丸回転症)	4
尿管皮膚瘻造設術	3	精索静脈瘤根治術	12
下大静脈切断再吻合, 尿管走行矯正術	1	陰嚢水瘤根治術	16
膀胱に対する手術	79	ソけいヘルニア根治術	8
膀胱全摘出術	10	副辜丸摘出術	17
回腸導管造設術	8	両側精管結紮術	8
尿管S状腸吻合術	2	辜丸生検	8
膀胱部分切除術	3	その他の手術	6
膀胱憩室切除術	4	母斑切除	1
膀胱吊り上げ術	5	尿貯溜腫切除	2
膀胱切石術	4	肉芽搔爬術	1
膀胱碎石術	3	ウイルヒョウ腺摘出術	2
膀胱瘻術	7	計	578

もしれない。膀胱尿管逆流に対しては、両側性のものは1度に両側とも手術している。

膀胱に対する手術では経尿道的切除術 (TUR) が多い。全麻下に膀胱鏡を行なった3例も加えてある。

前立腺に対する手術は、被膜下前立腺剔除術 44, TUR 114 で、やや TUR の率が高い傾向がある。

尿道に対する手術は26例、陰茎に対する手術は115例である。包茎の手術の中には、全麻で行なった小児の外来がかなり入っている。当院の存在する神奈川県中央地区には小児の包茎の手術を引き受ける病院がほとんどないため、患者が集中する傾向がある。同様に陰囊およびその内容に対する手術では、睾丸固定術の小児の患者が集中して来る傾向が示されている。

外来手術では他に精管結紮、包茎、睾丸生検が多

い。

患者の疾患別統計が現在ないので、正確には言えないが、当院には腎癌の方が膀胱癌より多い傾向がある。また前立腺癌はそれよりさらに多い。

また地方病院へ来る患者の特徴として、1つの病院で入院、手術が必要といわれると転院し、そこでも手術必要といわれるとさらに転院し、手術しなくてよいという病院を探す傾向が強い。このため入院を予約するように説得したつもりの患者の約30%は入院しないで帰り、さらに20%はベッドがあいても入院してこない、すなわち約50%の逃亡率がある。このように転院をくり返す者が多いので、入院する者にも手のつけられぬ末期の者が多く、また末期になることによって、手術しないで済むという目的を達している者が多い。腎生検と包茎の手術の多い原因の一つは、当院が学生数のきわめて多い総合大学の附属病院であること、学生の身体検査で発見される血尿の開放性腎生検は、かなりの数に上るし、包茎の手術数も他の医療機関より多くなると思われる。

む す び

以上、東海大学病院開院以来満3年間の泌尿器科手術統計について報告した。

文 献

- 1) 大森弘之・ほか：川崎医科大学泌尿器科教室における昭和49年、昭和50年および昭和51年の臨床統計。西日泌尿，**39**：842～848，1977。
- 2) 吉田 修・ほか：京都大学医学部附属病院泌尿器科の入院患者臨床統計（1973年8月～1976年12月）。泌尿紀要，**23**：393～397，1977。
- 3) 石川昌義・ほか：奈良県立医科大学泌尿器科学教室における1974年の臨床統計，泌尿紀要，**23**：387～391，1977。

(1978年9月27日受付)

Table 2. 外来患者手術件数.

膀胱瘻術	1
膀胱鏡検査	1
尿道拡張	1
除睾術	3
両側	1
片側	2
陰囊水腫根治術	5
両側精管結紮術	27
両側精管造影	11
睾丸生検	59
尿道脱切除術	1
カルンケル根治手術	12
環状切除術	123 (内全麻53)
背面切開術	74 (内全麻55)
包皮癒着剝離術	1
陰茎アテローム切除術	6
尖圭コンジローム切除術	10
皮膚腫瘍切除術	4
瘻孔狭窄切開術	4
計	343